

氏名	土屋 マチ
よみ	つちや まち
英字	TSUCHIYA Machi
プロフィール	医療・教育・福祉領域での心理臨床実践を経た後、大学助教・講師として教育・研究に関わり、2021年4月より現職。臨床心理士、公認心理師。
職位	准教授
最終学歴	名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻 博士後期課程
学位	博士（心理学）
所属学会・役職	日本心理臨床学会 日本ロールシャッハ学会 日本カウンセリング学会 日本精神病理学会 日本質的心理学会
専門分野	臨床心理学、心理臨床アセスメント
研究テーマ	投映法によるテストバッテリー論、アセスメントに関する研究、心理臨床事例研究
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	<p>【著書】 赤塚大樹・土屋マチ(著) TAT超入門, 遠見書房. 主題統覚検査法 / 松本まり子・森田美弥子 (編) 心理アセスメント—心理検査のミニマム・エッセンス, ナカニシヤ出版, 2018年3月, pp. 128-pp. 129を分担執筆。 心理臨床サービスの広がりと期待 / 森谷寛之・赤塚大樹 (編) 医療・看護系のための心理学(改訂版), 培風館, 2010年10月, pp. 207-pp. 211を分担執筆。</p> <p>【主な研究論文(単著)】 双極Ⅱ型障害の心理療法 (2023) 瀬木学園紀要, 22, 3-12. 強迫症状を訴える少女の治療的退行の検討(2023) 瀬木学園紀要, 21, 13-22. 性別適合手術前後における心理的変容—ロールシャッハ法を通しての検討—(2022) 瀬木学園紀要, 20, 23-32. 訪問カウンセリングにおける治療構造の検討—教育相談としての一つの試み(2018) 岐阜聖徳学園大学紀要, 教育学部編, 57, 95-111. 双極Ⅱ型障害のアセスメント—ロールシャッハ法, TATが捉える病態像の比較検討 (2016) 心理臨床学研究, 34(2), 173-183. ロールシャッハ法とTATを用いた双極Ⅱ型障害のアセスメント(2012)心理臨床学研究, 29(6), 739-749.</p> <p>【その他】 投映法によるアセスメント, 心理臨床事例研究などの研究発表 24本 (2009年9月～2024年3月) 2020年度 私学共済 女性研究者奨励金「無意識で働く防衛機制を捉えるためのマニュアル作成—TATプロトコル分析を通して—」研究代表者 日本ロールシャッハ学会第24回大会におけるミニレクチャー講師 (2020年11月) 日本TAT研究会事務局 (2016年～)</p> <p>【社会的活動】 名古屋市スクールカウンセラーとして地域の家庭教育セミナー等での講演 (2004年～2007年)</p>